

署所再編に関する各団体等としての意見・提言

提出期間：令和元年 5 月 31 日（金）～6 月 17 日（月）

項目	意見
建設地について	<p>○本署を「みやま」に移転した場合のアクセスについて みやま公園前の 30 号は、いわば一本道であるので、災害・事故等で通行に障害が出る可能性も想定される。将来も見据えて別ルートへのアクセスも設ける検討が必要。（日比）</p> <p>○旧和楽園運動場より和楽園施設跡地のほうが広いため、出張所としては和楽園施設跡地のほうがよいと思う。（山田）</p> <p>○旧和楽園運動場前の県道は通学路になっている。ここに出張所が建設されるならば、子供等の通行の際の安全の確保が必要である。（歩行者の安全に配慮が欲しい）（山田）</p> <p>○旧和楽園運動場に隣接する民家がある。そのため出張所を設置した場合に救急車及び消防自動車のサイレンなどを騒音と受け止め、著しく環境が変化したと感じられることを懸念している。旧和楽園運動場を中心として隣接する住民及び自治会員に対しての十分な説明と理解が必要に思う。（山田）</p>
体制について	<p>○本署、出張所から離れた地域対策として 倉敷（児島）や岡山南との広域協力体制について検討すべき。（日比）</p> <p>○消防署所の再編は、市民にとって安全・安心して暮らせる砦なので市民の一番の関心事だと思います。検討会議は、丁寧な説明でよく理解できました。今後の対処として、出張所が削減されても、消防署所・消防車・救急車など体制が変わっても、以前と変わらぬ体制で活動ができるとの事を力強く説明があり、少し安心しました。自然災害についての対処法などの話が無かったのですが、いつどこで起こっても不思議でない時代に、不安があります。玉地区は、三方が山に囲まれ、山際の住居も多く点在し、土砂災害危険箇所、又急傾斜特別警戒区域に建っている住宅も多々あります。それと玉地区は、山火事が過去に多く発生しています。これらの事を踏まえての、消防署の対処の説明がありませんでした玉地区にとっては、大切な事ですので、再編会議での議題として、説明を宜しくお願いいたします。（玉）</p>

<p><b>そ の 他</b></p>	<p>○今回の移転問題とは直接関係ないが、救急患者の搬送に受入先が決められず時間を要する場合は散見される。岡山・倉敷の大きな病院との契約など市として、もっと工夫をして一刻でも早く搬送できるようにお願いします。(日比)</p> <p>○旧和楽園運動場の土地は上山田自治会が借りているが、ここに出張所が建設されるならば、上山田自治会としては、それに代わる土地を要望する。水道、トイレ、倉庫も必要である。なぜなら旧和楽園運動場を災害時の避難場所としており、上山田自治会と品之昨自治会の合同防災訓練を実施しているため、ある程度の広さのある土地が必要である。(山田)</p>
---------------------	--